

news
atom
ニュースアトム

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所

OCTOBER
2023

10



- 原子力規制庁による原子力事業者防災訓練の評価結果について ほか[発電所ニュース]
- 発電所全体のコミュニケーション向上に取り組んでいます[発電所の一員として]
- 皆さまの声から改善しました
- サービスホール10月の催し

「棚田を彩るコスモス」
柏崎市高柳町高尾

原子力規制委員会における「東京電力に対する 適格性判断の再確認に関する公開会合」について

8月31日、原子力規制委員会において「東京電力に対する適格性判断の再確認に関する公開会合」が行われました。当社からは原子力・立地本部長の福田や発電所長の稲垣などが出席し、柏崎刈羽原子力発電所における保安規定第2条「原子力事業者としての基本姿勢」遵守のための取組状況について説明しました。また、9月11日～9月13日にかけては、柏崎刈羽原子力発電所での現地調査も行われています。引き続き、規制検査について真摯に対応してまいります。

詳しくは発電所ホームページ
からご覧いただけます



2022年度 環境放射線および温排水等の 監視調査結果について

新潟県および当社は、「放射線」や「温排水」が柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境に与える影響について、継続して調査しています。

9月4日、安全協定に基づく「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議※」が開催され、2022年度の当発電所周辺の環境放射線および温排水等の監視調査結果について評価いただきました。

※学識経験者などで構成される会議



環境放射線監視調査

柏崎刈羽原子力発電所周辺の空間放射線、ならびに農作物などの環境試料中の放射能を調査しました。

「問題となるような測定値は認められず、周辺環境への影響は無視できる」と評価されました。

温排水等漁業調査

柏崎刈羽原子力発電所周辺海域の水温、塩分やプランクトンなどの海生生物の状況を調査しました。

「これまでの結果と比較して特異な傾向は認められなかった」と評価されました。

結果ならびに評価の詳細は、新潟県ホームページでご覧いただけます



原子力規制庁による 原子力事業者防災訓練の評価結果について

8月30日、原子力規制委員会が開かれ、原子力事業者が実施する防災訓練の評価結果について報告されました。その結果、評価対象となる14項目全てにおいて最高評価(A評価)をいただきました。

原子力事業者が実施する防災訓練とは？

今回のような防災訓練は、2014年以降、シナリオを変えながら毎月1回以上実施し、福島第一原子力発電所の事故以降では、合計150回以上を数えます。それ以外にも、電源隊、注水隊、がれき撤去隊などの個別の訓練を3万回以上繰り返し実施しています。

【今回実施した訓練の概要】

- 森林火災と地震の発生に加え、設備機器の機能喪失等が重なる複数の場面を設定し、シナリオを伝えずに行うブラインド訓練を実施
- 消火活動の優先順位を指揮者に判断させる等、指揮者の能力向上を促す実効性のある訓練を実施
- 訓練中、発電所長の稲垣から事故対応として「一の矢」だけでなく「二の矢」「三の矢」も想定しながら進めるよう指示



防災訓練の様子

訓練の動画は
こちらからご覧
いただけます



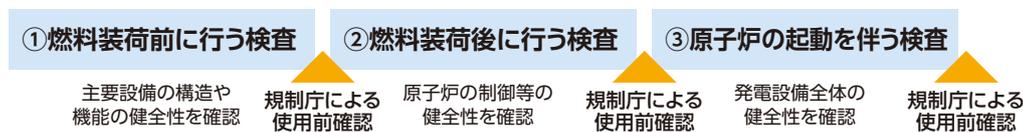
引き続き、原子力災害への対応力向上に取り組んでまいります

使用前事業者検査の流れについて

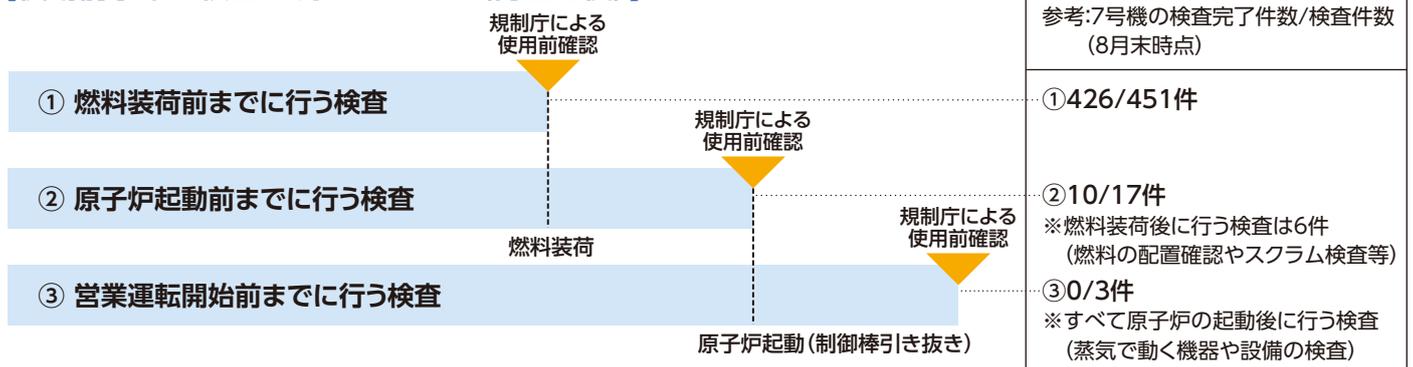
これまでお伝えをしてきた一般的な使用前事業者検査の流れについて、あらためて整理を実施しました。なお、7号機において営業運転開始前までに事業者(当社)が実施する使用前事業者検査は、471件中※436件を実施済みです。(8月末時点)

※検査件数は、機能維持のための保全作業等を行うことで再検査が生じ、変更となる可能性有

【使用前事業者検査の流れ イメージ(再整理前)】



【使用前事業者検査の流れ イメージ(再整理後)】





発電所全体のコミュニケーション向上に取り組んでいます。

発電所では、円滑なコミュニケーションによる風通しが良い働きやすい職場づくりのため、さまざまな取り組みをしています。

今回は、発電所全体のコミュニケーションや会議のスリム化に携わる担当者に話を聞きました。

(2023年9月取材)



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
所長付

つちだ
土田 なぎさ

Profile

土田 なぎさ

柏崎市出身。柏崎市在住。1987年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。保全部門の庶務業務、予算管理業務に携わり、2018年7月より現職に至る。

休日の過ごし方：子供の野球の応援や、野球審判をする主人を見守りながら、日焼けする日々です。

今後の目標：高校野球の大ファンなので、試合観戦だけでなく名門高校の練習風景を眺めてみたいです。また、都会でパンケーキの食べ歩きをするなど、旅行がしたいです！

—普段は、どのようなお仕事をされているのですか。

私が所属する「所長付」という部署は、まさに、発電所長の方針を具現化するための調整と発電所全体へ広めることが業務になります。発電所構内で働く皆さんからの意見を発電所の運営に取り入れ、より良い発電所づくりに向けた改善活動など行っています。私はその中で、特に「発電所内のコミュニケーションの活性化(内部コミュニケーション)」を中心に担当しています。

—内部コミュニケーションについて、具体的に教えてください。

内部コミュニケーションとは、発電所で働く皆さんが同じ目的に向かっていくために、発電所の情報を共有し、管理職の考えや想いを届けるとともに、発電所で働く皆さんの意見を聞いて発電所の運営に活かしていくことです。具体的な活動として、あいさつ運動や管理職と所員との対話活動があげられます。このあいさつ運動は所長の稲垣から始まり、所内に輪が広がっていきました。これにより所内の雰囲気は以前よりかなり明るくなり、より話やすく、意見があげやすい環境になってきたと感じています。あいさつ運動をきっかけに多くの人と会話をする中で、それぞれがやるべき仕事に集中できる環境にするため改善できることはないかと所員や協力企業の皆さんの声に耳を傾けています。

—そのほか、会議のスリム化を行っていると言いました。詳しく教えてください。

会議のスリム化として、発電所全体の会議の見直しなどを行っています。内部コミュニケーションの一環である管理職と所員との対話活動の中で、管理職から“会議や書類業務などに追われ、部下と会話する時間を取れない”という意見があがりました。こういった意見を受けて、管理職が部下とコミュニケーションが取れるよう時間を作るための活動を進めてきました。私自身も業務の効率化を行うことで、時間に余裕が生まれ心にも余裕ができて、共に働く仲間たちとも円滑に業務を進められています。

—会議のスリム化を進める中で、印象に残っているエピソードがあれば教えてください。

上司が私の声に耳を傾けてくれて、否定することなく「よし、やってみよう」と前向きに言ってくれたことがとても

うれしく、印象に残っています。

—会議のスリム化を始めてから、発電所内にどのような変化がありましたか。

「会議の拘束時間が短くなった」「資料作成が減って楽になった」という声も出ていますが、まだ改善の余地があると思います。コミュニケーションが円滑に取れる風通しの良い職場は、強い信頼関係の上で成り立ちます。そのため、発電所で働く全ての人々が、お互いに信頼し合っている状態を構築する必要があると思っています。これからもコミュニケーションの向上を図り、業務の効率を上げるため改善を進めていきたいです。

—柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として、地域の皆さまへメッセージをお願いします。

私は、傾聴のスキルアップを心がけ、自分が発する言葉や声掛けの言葉を考え、行動することを大切に、地域の皆さまや職場の仲間、家族との良好な関係が築けるよう努力し続けます。

土田さんと共に内部コミュニケーション業務に取り組む上司から話を聞きました

さいとうみのる

齊藤 稔 所長付 課長

土田さんは、いつも謙虚で、どんなに困難な仕事でも諦めることなく真摯に取り組んでいます。時には大胆な発想で業務の改善が提案され、逆に私自身が気づかされることもあります。互いに協力し合いながら、発電所で働く皆さんからの貴重な意見をより良い発電所に活かせるようこれからも一緒に頑張っていきたいと思っています。



ひらぬま なおき

平沼 巨樹 所長付 部長

所内でのコミュニケーションはどうしたら良くなるのか、どうしたら伝わるのか、情報を受け取る人たちを意識しながら取り組んでくれている土田さんに感謝しています。また、齊藤さんも交えて、冗談を言い合うなど和気あいあいとする姿は、柏崎刈羽原子力発電所の志の一つである「みんなが誇りを持って、笑顔で生き活きと働く発電所」をまさに体現してくれています。これからも「志」を意識しながら、より良いコミュニケーションの体現に土田さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。



皆さまの**声**から **改善**しました

発電所では、地域の皆さまからいただいたご意見を受けて、より良い発電所の運営を行うための改善活動を行っています。その一例をご紹介します。

協力企業の社員が抵抗なく声をあげ、
是正できるような環境づくりが必要ではないか。

改善 ご意見を受け、以下のように発電所運営や設備に関する意見・要望の受付に関する運用を見直しました。

①投書方法の見直し

【改善前】



ご意見箱への投稿



【改善後】



一般郵便による投稿



専用QRコードから投稿

【問題点】人目が気になり投稿しにくい

【効果】発電所構内で働く人たちが場所や時間を選ばず気軽に投稿できるようにすることで、多くの声を収集することができる

②回答方法の見直し

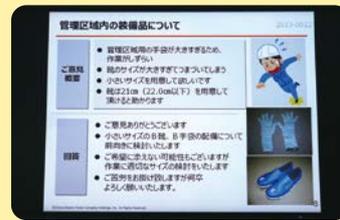
【改善前】



ホワイトボードに回答用紙を掲示



【改善後】



電子掲示板に掲載

【問題点】細かい文字のみで記載されていて、読みにくい

【効果】画像や図面等も表示することができるため、声の改善内容が伝わりやすい



柏崎刈羽原子力発電所
所長付
たかぎ いわお
高木 唯和夫

これらの取り組みにより、発電所構内で働く人たちが「自らの声で発電所を変えることができる」と感じられるようになっていきます。

会社や役職などを気にせず、気軽に意見が交わされるといった円滑なコミュニケーションができる職場環境は、働きやすさだけでなく現場の安全・品質面でも非常に重要です。円滑なコミュニケーションがなければ良い仕事はできないという考えのもと、発電所構内で働く人たちが意見をあげやすい環境整備を行っています。

地域の皆さまも、スマートフォンなどからご意見・ご要望をお寄せいただけます。P6に添付のものがきまたは「Webアンケートはこちら」をご利用ください。

今後も皆さまからのご意見を発電所運営に活かしてまいります。

Webアンケートはこちら

添付のはがきの代わりに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



友だち追加はこちら

発電所公式 LINEアカウント

イベント情報や
クーポンなどを毎月配信中!



こちらからアクセス!

発電所公式 Instagram

発電所の日常などの
写真を投稿しています!



東京電力ホールディングス YouTubeチャンネル

こちらから
ご覧いただけます

発電所に関する
動画を配信して
います!

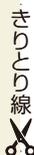


❶ 発電所に対するご意見や改善点などがありましたらお聞かせください。

❷ P2上段(訓練評価)の記事についてお聞かせください。

- ① 分かりやすい ② まあ分かりやすい
③ やや分かりにくい ④ 分かりにくい

❸ ❷の理由をお聞かせください。



■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いないようお願いいたします。

サービスホール10月の催し **参加無料**

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く
材料も道具もそろっているの、小さなお子さまでも気軽にチャレンジできます。



難易度★
ちらちらおばけ



難易度★★
ハロウィンバルーン



難易度★★★
こうもりメガネステッキ

サービスホール 臨時休館日のお知らせ

11月3日(金・祝)、11月4日(土)、11月5日(日)は設備点検のため臨時休館となります。

作業状況によっては11月11日(土)も臨時休館になる可能性がございます。詳しくは発電所ホームページをご確認ください。



発電所の訓練を見に行こう！^{10/14±15日}



●各回先着25名・各日4便

【ツアー時間】予約受付は各便40分前締切

●1便:10時～ ●3便:13時30分～

●2便:11時～ ●4便:14時30分～

※所要時間60分程度

当日サービスホールにて受付(事前予約不可)

発電所見学ツアーに参加する方は**身分証明書をお持ちください**

18才以上の方/運転免許証 又は マイナンバーカード

18才未満の方/マイナンバーカード 又は 健康保険証(保護者と一緒にご参加ください)

※身分証明書がないとご参加いただけませんのでご注意ください

お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

69

柏崎市青山町16番地46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2024年11月30日
まで

(切手不要)



ふりがな _____ 年齢 _____ 歳

お名前 _____ 男・女・回答しない

〒 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2023年10月号)

きりとり線

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、エネルギーホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しております。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページなどWebでもご覧いただけます。



へんしゅう後記

広報部に配属されてから早くも3か月が過ぎました。毎日、目まぐるしく日常が過ぎ去っていくため、私自身の感覚ではまだ1か月しか在籍していない気分です。慌ただしい日常の疲れを癒すため、お気に入りの入浴剤をいれ、お風呂タイムを満喫しています。子どもたちも湯船に色がつくと、喜んでお風呂に入ってくれます。(A)

ようやく暑さが落ち着き秋らしくなってきました。昨年も書きましたが、10月は私の誕生日です。子どもの頃は、誕生日間近になると「ケーキが食べられる!」とワクワクしていましたが、現在は、「もうそんな時期かぁ」と思うくらいに落ち着いています。1年が早く感じるのは、日々が充実している証でしょうか。次の1年も充実させられるように頑張ります!(楓)

今月号の表紙「棚田を彩るコスモス」

撮影場所: 柏崎市高柳町高尾
撮影時期: 2022年10月



2023年10月1日発行

編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍